

行政提案型協働事業

「障害者通所施設の休日を利用した 成人障害者の余暇活動支援」

二次選定会資料

令和5年5月31日

1. 目的

成人障害者の余暇活動支援は公的制度がなく、通所日以外の休日の余暇活動が少ない実態がある。一方で区立障害者施設は休日の利用がないため、他の活動で利用することで、社会資源の有効活用へと繋がる。

今回余暇プログラムを実施している団体と協働することで区立障害者施設の休日使用の課題を整理し活用を検討する。

2. 過去の実績

年度	使用施設	協働団体	実施内容
平成30年	世田谷区立すまいる梅が丘	ソラマ	ポッチャ 全八回（延べ47人）
	世田谷区立砧工房	世田谷手をつなぐ親の会	ダンス五回、LLBOOK等五回、全十回（延べ104人）
令和元年	世田谷区立すまいる梅が丘 世田谷区立九品仏生活実習所	ソラマ	ポッチャ 全八回（延べ35人）
	世田谷区立砧工房 世田谷区立千歳台福祉園	世田谷区手をつなぐ親の会	・フラワーアレンジメント・アート等全8回（延べ101人）
令和二年	新型コロナウイルス感染症の影響により施設を使用できず休止		
令和三年	新型コロナウイルス感染症の影響により施設を使用できず休止		
令和四年	新型コロナウイルス感染症の影響により施設を使用できず休止		

3. 団体について①NPO法人わんぱくクラブ育成会

- 1986 世田谷幼稚園学童クラブ OB 会「わんぱくクラブ」結成。
- 1987 小学校高学年の学童クラブとして開所。その後必要度の高い障がいのある子どもを対象とした学童クラブとなる。
「障がい児の放課後を豊かに」を合言葉に、職員と父母がともに運営。
- 1992 成人グループ「ひかり」の前身である青年学級開始。活動場所が世田谷幼稚園になる。
- 1993 2 月資金作りのため、はじめてのコンサート「ダ・カーポコンサート」を開催、以後毎年度コンサートを実施。世田谷区から補助金をうけるようになる。
- 2000 1 月に NPO 法人格を取得、区から場所を借りて、「第 2 わんぱくクラブ」開所。
- 2001 「わんぱくクラブ三軒茶屋」「わんぱくクラブ駒沢」で活動開始。
- 2004 生活支援わんぱく(移動支援・居宅介護事業)開所。
- 2006 「児童デイサービスわんぱく」開所(2012 年「幼児グループわんぱく」に改名)
- 2008 世田谷区上町に「本部」と「ひかり」の拠点を移転。第 42 回キワニス社会公益賞を受賞。
- 2010 若林に「本部」と「ひかり」の拠点を移転。
- 2013 短期入所事業所「はっぴいハウスわんぱく」開始(2017 年 7 月閉所)。「わんぱくクラブ三軒茶屋」が太子堂複合施設に移転。
- 2014 「幼児グループわんぱく」、代田に移転。「ひかり」日中ショートステイになる。
- 2015 「相談支援センターわんぱく」開所。
- 2016 6 月「わんぱくクラブ三宿」開所(2020 年 3 月閉所)。
- 2019 9 月 認定 NPO 法人の認定を受ける。
- 2022 4 月「幼児グループわんぱく」、松原に移転。
- 2023 5 月 代田に「本部」と「ひかり」の拠点を移転。

4. 団体の紹介②特定非営利活動法人 にじのこ

1979年	発達に遅れのある子どもを育てていた母親が 遊びの会を発足
1980年	烏山区民センターで 専任の職員が従事し 幼児の通所グループとして活動を開始
1988年	学童グループの活動を開始
2000年	特定非営利活動法人として東京都より認証を受け 登記
2002年	事務所を京王線千歳烏山駅近くに移転
2003年	世田谷区より専用の施設を提供され デイサービス事業の活動場所を給田に移転して「デイサービスにじのこ給田」とする
2004年	児童・障がい者の介護事業「ヘルパーステーションにじのこ」を開設
2007年	デイサービス事業を障害者自立支援法に基づく事業へ移行
2010年	赤堤にデイサービス事業「デイサービスにじのこ赤堤」開設 高齢者の訪問介護事業開始
2012年	児童福祉法に基づく児童発達支援事業へ移行
2013年	世田谷区タイムケア事業から児童福祉法に基づく放課後等デイサービスへ移行 特定指定相談支援事業および指定障害児相談支援事業開始 高齢者の予防介護事業開始
2014年	児童発達支援事業を「幼児グループにじのこ」として給田2丁目に移転
2019年	放課後等デイサービス事業「デイサービスにじのこ赤堤」を世田谷線松原駅近くに移転

5. 今回の内容

- ・実施場所は世田谷区立世田谷福祉作業所、給田福祉園
- ・各講座(プログラム・イベント)、60～90分×2、2時間半、等
- ・参加対象者は、成人の障害者と、その家族・支援者、そして、障害の有無を問わず地域住民
- ・広報は、地域への広告と作業所・実習所・ヘルパー事業所等
→「こういうイベントには初めて参加」という方 や、「当事者同士は馴染がるが、作業所などが異なり、交流する機会がない」というケース等、様々の方々がイベントを通じて触れ合う時間に
- ・参加人数は 15～30 人
- ・事前申込制、参加人数によっては当日参加も検討

6. 講座の内容

わんぱくクラブ①/創作アート「ひょうたんアート！」(仮)

(世田谷福祉作業所を利用予定)

- ・ひょうたんに色を塗ったりデコレーションをする
- ・手順などは、講師から適宜説明を行い、それぞれに作品を同時に作り、完成したら発表会を行い、持ち帰る



わんぱくクラブ②/音楽プログラム「ミニコンサート&音楽遊び！」(仮)

- ・聴いて楽しむコンサートと、参加型の音楽プログラム(音楽あそび)を、一コマの中で行う
- ・参加型の音楽プログラムは、コンサートのバンドメンバーと一緒に楽器を演奏したり、歌う



わんぱくクラブ③/室内スポーツ「ボッチャ大会！」(仮)

- ・チーム対抗戦と、個人戦、それぞれでゲームを楽しむ
- ・お互いを労うような表彰式を行う



にじのこ/ダンス講師と助手によるダンス教室開催

- ・給田福祉園を利用予定
- ・食堂と隣接するホールを使用
- ・お知らせなどは、にじのこ作成、施設長確認後に配布



7. 最後に

新たに世田谷区立給田福祉園、世田谷福祉作業所を使用し、前回とは違う新たな団体と協働することで、課題整理が進むことを期待している。

課題を整理した上で、今後障害者施設ならではの有効的な活用を目指す。